

小地域福祉ネットワーク活動推進事業

平成 28 年度の実施状況

1 小地域福祉ネットワーク活動推進事業とは

高齢化、核家族化などの進行による地域福祉の充実強化が重要視され、特に小地域における自主的な民間福祉活動の展開が急務となってきています。

小地域福祉ネットワーク活動推進事業は、その具体的なひとつの手だてとして小地域における福祉活動の協力者となる「福祉委員」制度を展開し、より一層小地域の特性を生かした福祉ネットワークづくりの充実と福祉委員活動の展開を側面的に援助させていただくことを目的に実施します。

事業を実施する町内（自治）会には、活動費として世帯数や福祉委員人数に応じて助成金を交付させていただきます。

2 平成 28 年度は 89 町内会に助成し、事業数は延べ 443 事業に取り組まれました

平成 28 年度は、市内 146 町内会のうち 89 町内会において、啓発活動、調査活動、交流活動、在宅福祉サービス活動の四分野にわたり、事業数は延べ 443 事業に取り組まれました。

なお、前年度から増加した町内会の内訳は、新規に取り組みを始めた町内会が 1 ヶ所、事業への取り組みを再開した町内会が 2 ヶ所となっています。

事業をスタートさせた平成 6 年度からの実施地区数は次のとおりです。

これまでの実践地区（町内会）数

年度	H 6	H 7	H 8	H 9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16
地区	23	30	33	37	48	51	61	67	67	67	71

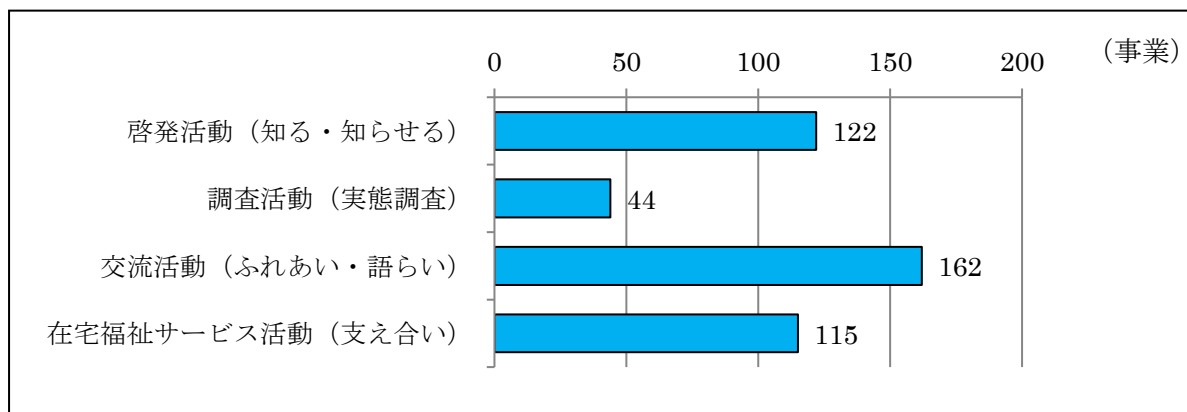
年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
地区	70	74	76	77	80	84	85	87	85	88	86

年度	H28
地区	89

3 平成 28 年度の取り組み状況

平成 28 年度の取り組み状況を「啓発活動（知る・知らせる）」「調査活動（実態調査）」「交流活動（ふれあい・語らい）」「在宅福祉サービス活動（支え合い）」の分野別に分類し集計した結果は、会食会やふれあいサロン等の「交流活動（ふれあい・語らい）」が 162 事業と最も多く取り組まれ、活動の中心を占めました。

図 1 活動種類別と事業数



4 平成 28 年度に町内会で取り組まれた主な事業（上位 10 事業）

平成 28 年度に町内会で取り組まれた主な事業は、1 位が「各種行事を通じた交流」で 62 町内会、2 位が「会議・福祉委員会」で 57 町内会、続いて 3 位が「ふれあいサロン活動」で 43 町内会となっています。

なお、「ふれあいサロン活動」が前年度の 4 位から 3 位に、「会食会等」が 10 位から 5 位に順位を上げており、地域での居場所づくりや仲間づくりに取り組む町内会が増えています。

平成 28 年度全体の事業は、次項の「平成 28 年度事業一覧」のとおりです。

順位	事業名	町内会数	活動分野
1 位	各種行事を通じた交流	62	交流活動
2 位	会議・福祉委員会	57	啓発活動
3 位	ふれあいサロン活動	43	交流活動
4 位	見守り・声かけ活動	38	在宅福祉サービス活動
5 位	会食会等	30	交流活動
	訪問活動	30	在宅福祉サービス活動
7 位	除雪支援活動	29	在宅福祉サービス活動
8 位	日帰り旅行	27	交流活動
9 位	研修会参加・施設見学	24	啓発活動
	世帯名簿作成・更新	24	調査活動

平成 28 年度事業一覧

※146 町内会中の割合

活動の種類	事業名	町内会数	% ※
啓発活動 (知る・知らせる)	会議・福祉委員会	57	39.0%
	福祉懇談会	2	1.4%
	福祉だよりの発行	13	8.9%
	研修会参加・施設見学	24	16.4%
	勉強会・研修会の実施	9	6.2%
	声かけ推進	17	11.6%
調査活動 (実態調査)	世帯調査・福祉マップの作成	20	13.7%
	世帯名簿作成・更新	24	16.4%
交流活動 (ふれあい・語らい)	各種行事を通じた交流	62	42.5%
	ふれあいサロン活動	43	29.5%
	日帰り旅行	27	18.5%
	会食会等	30	20.5%
在宅福祉 サービス活動 (支え合い)	見守り・声かけ活動	38	26.0%
	訪問活動	30	20.5%
	除雪支援活動	29	19.9%
	緊急時・災害時の支援活動	9	6.2%
	日常生活支援活動	9	6.2%